

すなお

令和4年5月号



おやのことば
九ツ こゝろをさだめ
るやうなら
十代 ところの
きまりや

「みかぐらうた」ニ下り目より

先月二十六日、大教會長さんと共に葛城分教會
二宮真介新會長さん、葛城前會長さん、瀬戸路會
長、大洋輝會長さんの五人で教祖の前に運ばせて
いただき、真柱様より會長就任のお許しをいただ
きました。



〈葛城分教會十代會長お運び報告〉

今月二十九日、午前十時より葛城分教會十代會
長就任奉告祭がつとめられます。瀬戸路からは代
表者のみの参拝になりますが、参拝されない方々
もその日その時を、どうかそれぞれの場所から祝
意と今後の決意の思いを届けていただきたいと思
います。よろしくお願ひします。

【葛城分教會十代會長就任奉告祭執行】



すなお (立教185年5月号)

通 巻
發行所

No.742
天理教瀬戸路分教會
794-0007 今治市近見町4-5-10

FAX 0898-23-5004
發行日 0898-23-5123
二宮英治 2022.5.16

責任者

皆様お変わりないでしようか、私は

ずいぶん変わってしまいました。

思い返せば五月四日に私は出直して

いたのでしょうか。

神殿二階の天井裏に上がり、梅雨前に雨漏りの点検と夏の対策をしておきたいと作業を始めました。親奥さんからも「まだコロナワクチンの後だから急がなくても」と言わながら「大した用事でないから」と言って押し切つて天井裏に上りました。今まで何度も天井裏に上がりました。今まで何度も

となくさまざまなもの上面に上がってきましたので、軽く考えていました。

自分で足元が怪しいなあ、と思った瞬間に天井板を踏み抜いて下の部屋に落ちました。どこかに捕まる間もない

です。一瞬でした。その後、腰に悶えるような激痛が走りもう動けません。救急車で県病院に運ばれ検査後、腰椎の圧迫骨折だと聞きました。

その後病室で「あー、親会長さんが四十六歳の時に古い教会を解体しに行き、下敷きになつた際、腰椎の圧迫骨

折だと聞きました。

会長

その時に出直していくても不思議ではなかつたと聞きました。

私は落ちた一瞬に死んだとは思いませんでした。でも、病室であちこち身体に傷をつけていたりするのを

捕まれば良かつたかも?なんて事も

ませんから、あちこちに釘が飛び出しています。そんな所に手や首など引っかけていたら、それこそ

命はなかつたでしよう。

私が出直していたら、私はもうい

ません。いなかつたら、という想像

は難しいかもしれません、そうし

た場所から、今回の節を受け止め

下さり、信仰を進めていただけたらと

願います。

もちろん、私自身もこの節を生き

節にすべくつとめさせていただきま

す。どうぞよろしくお願ひいたします

最近、様々な事が当たり前になり、不

足の入り口に立つていました。

お道の基本は、やはり【陽気ぐらし】

目標は「感謝・慎み・助け合い」だと思

います。

私も以前より、世界(目線)が拡がり、

何と困っている人々が多い気がします。

リハビリと一緒に、実行したらただけ

の答えを頂けます。

考える前に、実践あるのみです。

実践あるのみ



野間龍二

不思議な偶然



椿 信代

先日、朝起きる時に背中を変に捻ってしまい激痛で身体が動かせなくなりました。ぎっくり背中とでも言うのでしょうか。数年前も一度同じように首を痛めたことがあります、今回あまりの痛さに寝たり起きたりすら辛い状態でした。

その日はたまたま仕事の休みを取っていたので湿布を貼って安静にしておこうと布団に戻ったところ、珍しく朝方に愛媛の妹からLINEが来ました。

「父さんが天井裏から落ちて救急車で運ばれた」と……。

突然のことに状況が把握できるまでかなり焦りました。父は腰椎圧迫骨折という大怪我を負いましたが、幸いにも意識があり最悪の事態は避けられたようではあります安堵しました。そして家族から色々話を聞いてみると父が怪我をした時間と、私の背中に痛みが走ったのがほぼ同じ時間だったことが分かったのです。

ふと、これは偶然ではないのかもしれないと思いました。もしかしたら親の怪我をわずかにでも軽くするために痛みが子供の私へ来たのかもしれない、本来ならもっと大変なことになっていたのかもしれない……そう思うと自分の背中の痛みも良いことのように思えてきました。

全ては神様のなさることでどんな意味があったのか本当のところは分かりません。ですが、今回の件で神様の思いを感じずにはいられませんでした。しっかりとこのお札を伝え、父が1日でも早く回復するようにお願いさせていただこうと思います。

教会ニュース

4月大教会の祭典終了後、長年詰所勤務をつとめてくれています
山本健司さんが大教会准員に登用されました。

編集後記

”ふしから芽が出る”と聞かせて頂きます。節から新しい芽が出るように頑張りたいと思う今日この頃です。（編集者K）